

時
広
真
吾

舞
台
衣
装
展



美の神殿

2020年 2月29日(土)-3月6日(金) 茅野市美術館 企画展示室

10:00~18:00 (2月29日、3月1日、6日 ~21:00 ※3日休館) 観覧無料

主催：茅野市民館指定管理者 株式会社地域文化創造、茅野市美術館 企画制作：TOKI ファンの会

後援：茅野市、茅野市教育委員会、岡谷市教育委員会、諏訪市教育委員会、下諏訪町教育委員会、富士見町教育委員会、原村教育委員会、北杜市教育委員会、信濃毎日新聞社、長野日报社、市民新聞グループ(7社)、FM 長野、LCV、月刊ぶらざ、株式会社長野こまち、JR 東日本 長野支社、茅野商工会議所、信州諏訪農業協同組合

Photo by Manabu Usato

時広真吾

舞台衣装展

美の神殿

舞台衣装家・時広真吾氏の手がける多彩な舞台衣装を一堂に集めた展覧会を開催いたします。舞台という時空間のなかで身にまとい、生き生きと輝きを放つ衣装たち。国内外の舞台で多くの俳優やパフォーマーと競演してきたそれらは、世界中の貴重な布地がふんだんに使われ、他に類を見ない独創的なデザインにより、衣装そのものに独自の美の力が備わっています。展示会場は東洋、西洋、そして変幻自在という3つのテーマが織りなす「美の神殿」へと変貌。物語をたどるようにじっくりと間近でご鑑賞いただけます。会期中は壮麗なパフォーマンスや時広氏本人による作品解説、トークショーも行ないます。様々な視点から、あふれる美の力をご堪能ください。



時広真吾 Shingo Tokihiro

山口県生まれ。ジャーナリストからスタイリストへ。1991年、モーツァルトのオペラ「魔笛」より舞台衣装デザインを開始。独自のスタイルは「風が纏う衣装」「挑発する衣装」「格闘する衣装」「文学的抒情」など様々な名前が一流アーティストや演出家から捧げられている。衣装展およびワークショップはアジア5か国(韓国、マレーシア、フィリピン、タイ、ベトナム)を始めとし国内でも各地で開催されている。ヨーロッパ5か国のシェイクスピアフェスティバルから招聘される。古事記やシェイクスピアといった古典を得意としている。地域振興のための新しい「祭り」のプロジェクトを依頼されるなど衣装デザイナーの域を超え多方面で活躍している。東儀秀樹、川合郁子(ヴァイオリニスト)、レナード衛藤(和太鼓)、小林沙羅(声楽家)などの音楽家、松井誠、早乙女太一、真矢みき、愛華みれ、秋本奈緒美など数多くのエンターテイナーたち、太鼓芸能集団「鼓童」、東京ノーヴィ・レパトリシアターをはじめ、クアラルンプール パフォーミング アーツセンターからもミュージカルと芝居の衣装デザインを依頼される。2010年より各地の地元のアーティストたちとコラボする「美の種」プロジェクトをプロデュース。デザイナー、詩人、パフォーマー、写真家そして演出家の顔をもつ。その活動の幅広さから、オールラウンド・アーティストと称される。

■ 関連企画

パフォーマンス

時広氏の創造した舞台衣装を身にまとい、パフォーマーが音楽とともに「装艶(そうえん)」するパフォーマンスをお届けします。

● オープニング・アクト

日時：2月29日(土)16:30 開演
会場：企画展示室 料金：無料
出演：
青蓮・TEO(時広真吾専属パフォーマー)
木元梨枝

● クロージング・アクト

日時：3月6日(金)19:00 開演
会場：企画展示室 料金：無料
出演：
青蓮・TEO(時広真吾専属パフォーマー)

● [申込制] オープニング・レセプション 日時：2月29日(土)18:00 開始 会場：カフェ・アンダンテ(茅野市民館内) 料金：2,000円

トークイベント

● 作家によるギャラリートーク

時広氏による解説とともに、会場に展示した舞台衣装を鑑賞します。
日時：① 3月1日(日)11:30
② 3月6日(金)11:30
③ 3月6日(金)14:00
会場：企画展示室 料金：無料
話し手：時広真吾

● トークショー

「舞台衣装創作の歓び」
時広氏に創作の魅力などをうかがいます。
日時：3月1日(日)14:00
会場：企画展示室 料金：無料
話し手：時広真吾

[お問合せ] 茅野市美術館 (茅野市民館内)

長野県茅野市塚原一丁目1番1号

TEL 0266-82-8222 FAX 0266-82-8223 火曜休館

電車：JR 中央本線・茅野駅下車、東口直結/車：中央自動車道・諏訪ICより車で約12分

2019年度茅野市民館主催事業「ショーケース」

この展覧会は、市民が主体となって企画制作し、茅野市民館がサポートする「ショーケース」事業として開催します。

